

予防(マダニに咬まれない)のポイント

感染予防にはマダニに咬まれないようにすることが重要です。

屋外で活動する際は…

- ①皮膚の露出を少なくする。
- ②忌避剤(防虫スプレー)の使用も効果的です。
- ③帰宅後は、ダニを家の中に持ち込まないようになるとともに、ダニが付いてないか(咬まれていないか)確認しましょう。

※咬まても痛みや痒みはあまりなく、気づかない事も多いです。



上着や作業着は、
家の中に入
持ち込まない
ようにしましょ
う。



屋外活動後は、
シャワーや入浴で、
ダニが付いてないか
チェックしましょ
う。



ガムテープを
使って服に付いた
ダニを取り除く方法も
効果的です。

首にはタオルを巻くか、
ハイネックのシャツを
着用しましょう。

シャツの裾はズボンの
中に入れましょ
う。

ハイキングなどで
山林に入る場合は、
ズボンの裾に靴下を
被せましょ
う。



半ズボンや
サンダル履きは
不適当です!

シャツの袖口は軍手や
手袋の中に入れましょ
う。

農作業や草刈などでは
ズボンの裾は長靴の
中に入れましょ
う。

出典: 国立感染症研究所 昆虫医学部

もしマダニに咬まされたら

無理に引き抜こうとすると、マダニの体液を逆流させてしまったり、マダニの一部が皮膚内に残ってしまい化膿することがありますので、医療機関(皮膚科や外科など)で適切な処置を受けて下さい。マダニに咬まれた可能性がある場合は2週間程度は体調の変化に注意してください。

体調が悪くなったら

- 1 野山に出かけるなどマダニに咬まれた可能性があり、数日～2週間程度で発熱や発疹、嘔吐、下痢、ぼんやりした感じなどの症状が出た場合は速やかに医療機関を受診してください。

※マダニに咬まれた跡が見つからない場合もあります。※受診時に、マダニに咬まれた可能性があることを医師に伝えてください。

- 2 屋外と行き来があるペット(特に猫)に咬まれて感染する場合があります。

ペットに咬まれて数日～2週間程度で、発熱や発疹、嘔吐、下痢、ぼんやりした感じなどの症状が出た場合には、SFTSの可能性があるので、速やかに医療機関を受診してください。



マダニに関する相談

マダニによる感染症やその予防対策等は最寄りの福祉保健所(保健所)にご相談ください。

機関名	電話番号	機関名	電話番号
安芸福祉保健所	0887-34-3177	須崎福祉保健所	0889-42-1875
中央東福祉保健所	0887-53-0297	幡多福祉保健所	0880-34-5120
中央西福祉保健所	0889-22-1249	高知市保健所	088-821-6514